



本堂と最後のお別れ

熊本地震の揺れにより、広範囲にわたり寺院が被害を受けている。倒壊だけは免れたものの、柱が傾き、壁が壊れ、修復不能となった寺院は「解体」という決断を迫られている。その一つである熊本市の崇徳寺は解体を決め、5月18日に住職、門徒が集まり、最後のおつとめを行った。



門徒5人が亡くなった益城町平田地区

寿徳寺がある益城町平田地区は、同寺門徒5人が亡くなるなど地区全体が甚大な被害を受けた。同寺門徒の西村正敏さん(88)美知子さん(82)夫妻は、家屋の下敷きになり亡くなった。一緒に暮らしていたご家族は、近くの体育館で避難生活を送った。

熊本の大地震により、被害を被った宗門寺院の数は八月一日時点で、四八六ヶ寺。門信徒がお七くなりになりました。四八六ヶ寺の名となっており、二二二数は、北海道、東北の台風被害など、大きな災害が続いています。こちらにも多くの寺院が被災し、七くなった方やご家族のことを思うと言葉もありません。幸い善称寺のある和歌山市は今のところ災難を免れています。自分たちも、いつ被災するかわからないということを感じておかげななりません。

善称寺だより

発行元 善称寺
本町五丁目三十二
☎422-0473

防災を考える

愛する家族やペット、財産、家、思い出の品や、車、貴重なモノなど、全てを奪い取ってしまうのが自然災害ですが、被災地の映像をテレビで見ても、「自分は失いたくない、同じ目にあいたくない」と思っていることに気がかされます。防災を考えることは大切です。しかし自然が相手ですから「想定外」ということもあ

ります。防災を考えるときに、自分にとって本当に大切なモノやいつか失うモノについて考えるのも良い機会です。私たちは少なからず財産を持っていますが、それをすべて失ったときには、なんとか助けて生きていける自分たちであるかどうか。お金がなくなったとたん生きていけなくなるようなら、どれほど財産があっても安心はできません。少子化、高齢化、核家族化が進む現代においては、血縁を超えて、困ったときはお互い様。そんな人間関係がますます大切になってくるでしょう。被害にあわれた方に、一日も早く平穏な日々が戻るよう、お祈り申し上げます。

善称寺

こんなお寺です

和歌山市街の中心部でありながら、閑静な住宅街の中に位置し、静かな環境でゆっくりとお参りしていただける、ちいさなお寺です。境内の墓地は、いつでも清潔であることを心がけ、そこに眠る方々に想いをよせて大切にお守りしております。

善称寺は永正15年(西暦1518年)、浄土真宗本願寺派の寺として創建されました。空襲で本堂が焼失した時期もありましたが、檀家さまのご尽力のもと立派に再建されました。現住職は23代目です。歴史あるお寺をお預かりする責任を痛感しつつ、いつでもみなさまに広く開かれた、身近な場所としてのお寺づくりを目指しています。



お墓のことでお悩みの方へ

- お墓を建てても後継ぎがない
- 無縁墓にならないように
- 子供に負担をかけたくない
- 夫婦ふたりのお墓がほしい
- 合同のお墓には抵抗がある
- 墓じまいを考えている
- 元気なうちにお墓を準備しておきたい
- お墓を引越したい

お墓の悩みは十人十色です。どのようなことでもご相談ください。一緒に解決方法を考えましょう。

ゆずり葉の碑

宗派不問・管理費不要の永代供養墓

住職 宇治田 真宣

ぜひホームページをご覧ください
料金の説明や申込者さまのお声を掲載中です
<http://zensho-ji.com> **ゆずり葉の碑** 検索

お問い合わせ・資料請求はこちら

和歌山市承認墓地 ぜんしょうじ
宗教法人 **善称寺**
☎073-422-0473

和歌山市本町5丁目32番地
駐車場あり/寺務所火曜休み